

シグマ研究委員会
62年度第3回運営委員会議事録(案)

日 時： 昭和62年9月11日(金) 13:30~17:30
場 所： 東京大学原子力研究総合センター 第1会議室
出席者： 鹿園(委員長;原研)、梶山(東北大)、井口(東大、中沢代理)、
村田(NAIG)、若林(動燃)、中嶋(法政大)、五十嵐、金子、
長谷川(原研)
幹 事 : 浅見、中川(原研)
オブザーバー: 瑞慶覧(日立)

配布資料

1. 62年度第2回運営委員会議事録(案)
2. 62年度シグマ特別専門委員会(シグマ研究委員会)議事録(案)
3. The 1988 International Reactor Physics Conference
4. 「Fifty Years with Nuclear Fission」会議に関するBehrens氏から五十嵐氏への手紙
5. Specialists' Meeting on Preequilibrium Nuclear Reactions (First Circular)
6. Second Announcement and Final CALL FOR PAPERS, ISFNT
7. NEANDCレポート国内配布先リスト
8. INDCレポート国内配布先リスト
9. CINDA国内配布先リスト
10. 核融合炉技術のための国際核データライブラリーに関するIAEA専門家会議への参加について
11. 核データ国際会議作業分担表とProceedingsについて

議 事

1. 議事録確認

配布資料1により前回6月12日の議事録を確認した。また、資料2により

7月3日の本委員会議事録を確認した。

2. 事務局報告

1) 委員会旅費について浅見氏が報告した。現在、旅費の再配分を検討しているので次回詳しい案を示す。委託の旅費が使える会合は「検討会」として開催してもらっている。

これに対し、「検討会」とするのは不自然であるとの指摘があった。

2) プロGRESSレポートを現在印刷中であることが浅見氏から報告された。

3. 炉物理国際会議について

1988年に Jackson Hole で開かれる炉物理国際会議について配布資料3が竹田氏(阪大)から送られて来たが、核データ側からの発表はしない事にした。(五十嵐)

4. 核分裂発見50周年会議

1989年4月にNBSで開かれる標記会合の案内(配布資料4)がBehrens から送られて来たので国内関係者に配布した事が五十嵐氏から報告された。

5. Preequilibrium Nuclear Reactions 専門家会議

標記会合の第1次案内(配布資料5)を五十嵐氏が紹介した。この会合には核データセンターの柴田氏が出席する予定である。他に出席を希望する人がいれば連絡して欲しい。

6. 核融合シンポジウム

来年4月に開かれる「International Symposium on Fusion Nuclear Technology」の第2次案内を五十嵐氏が紹介した。また、この会合でITER work shop があり核データ関係の話しが出そうであると梶山氏が補足した。

7. NEANDC、INDC、CINDA配布先リスト改訂

改訂した配布先のリスト（配布資料7、8、9）が示された。コメントがあれば早めに核データセンターへ連絡すること、また、CINDAの配布先についてはCINDAグループで検討することにした。

8. 専門部会報告

中嶋氏、村田氏、長谷川氏からそれぞれの専門部会活動の報告があった。また、次回は、Stusdvikで行った崩壊熱の専門家会議の様子を吉田氏に報告してもらうことにした。核データ専門部会では、JENDL-3評価の問題点をまとめる方向で検討することにした。

9. INDC第16回会合について

鹿園委員長が10月19日から北京で開かれるINDC第16回会合に出席し、日本の活動について報告するが、プログレスレポートに報告されていることの他に報告すべきことがあれば連絡して欲しいとの要請があった。

10. その他報告事項

- 1) 2年報の編集が終了したことが長谷川氏から報告された。また、次回からは核データセンターの室員を1人編集委員とすることが提案された。
- 2) 金子氏から来週NEACRP会合に出席する旨報告があった。

11. INDL/Fへの対応

五十嵐氏から配布資料10によりINDL/Fおよび、11月16日～18日にウィーンで開かれる専門家会議について説明があった。この会合には神田氏（九大）と柴田氏（原研）が出席する予定である。

この会議への日本の対応について議論が行われ、「日本としてはINDL/Fの作成に協力していく。JENDL-3のための評価済みデータも必要であれば提供する」ことにした。

12. 核データ研究会準備状況

瑞慶覧氏から、核データ研究会を11月12日、13日の2日間、原研前の茨城原子力センターで行うことにしたこと、またそのプログラムがほぼ確定したことが報告された。参加者への宿の斡旋について議論があったが、例年通り希望者には原研の外来者寮、阿漕ヶ浦クラブおよび東大寮を手配することにした。

13. 核データ国際会議準備状況

五十嵐氏より次の報告があった。

- 1) 8月末に国内の関係者宛に仮登録の催促状を出した。現在までに全部で約170名から仮登録申し込みを受け取った。
- 2) 現在、第3次案内を作成中である。また、9月中に企画運営部会を開く予定である。
- 3) アントワープとサンタフェ会議のプロシーディングスの作成について調べた(配布資料11)。印刷に関しては、現在原産にあたっている。
- 4) Opening address, keynote address, chairmen 等の案を作るためプログラム部会を開く必要がある。

14. JENDL-3Tのベンチマークテストの状況

- 1) 浅見氏から現在までに311核種中72核種のファイル化が終了したことが報告された。これでベンチマークテストに必要な重要核種のデータはほぼ完成した。
- 2) 長谷川氏からベンチマークテストの状況が報告された。
- 3) 9月16日にベンチマークテストの結果の検討を主要な重核評価担当者とJENDL編集グループを中心に開くことが報告された。

15. 本委員会からの話題

配布資料2の議事録をもとに7月3日の本委員会を振り返ってみた。

次回は11月6日(金)東京で行うことにした。